



バッテリーは左右に3セルずつを振り分けたセパレートタイプをグラステープで固定。ストレート型も同様に搭載可能だ

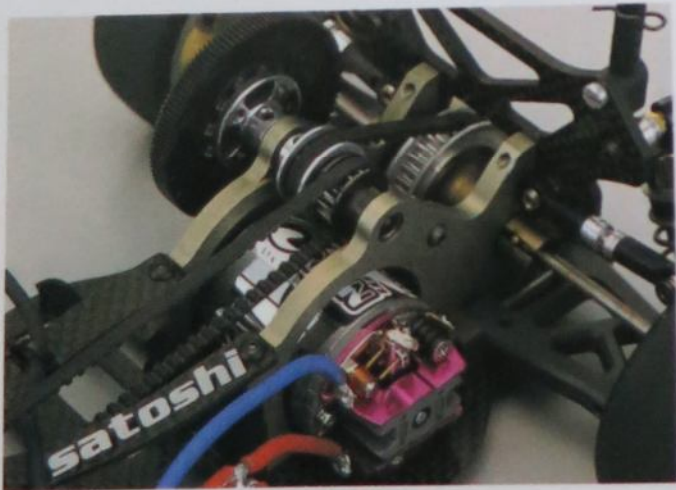
トタイプが基本。また、SPなどではないんだストレートパックも、グラステープ止めで対応できる設定で、JMRC Aスポーツマンクラス（スポット溶接のバックバッテリー指定）にも出場できる。

そうして組み上がったシャシーのメンテナンスにも、気を遣うところが出てくる。オープン構造バルクヘッドはホコリなど異物の侵入が起りやすいため、定期的にデフを降ろしての掃除が必要。セッティング箇所と要素が増えることに対しては、これを記録するセッティングシートも、大事になってくる（下欄参照）し、メカ類も特性を重視したい。

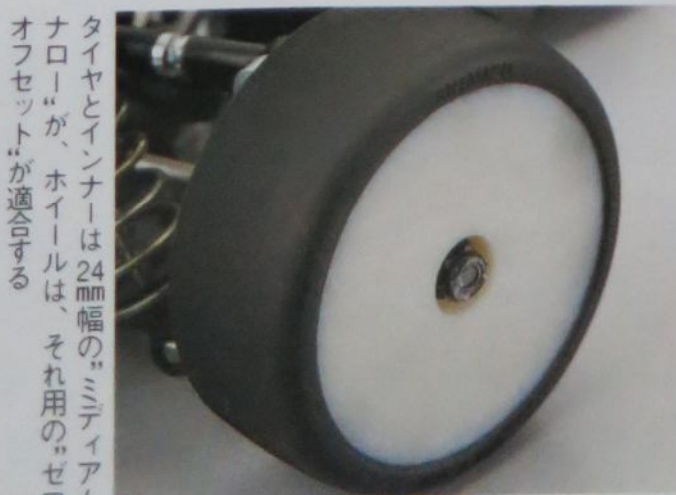


414のキットでは15Tのセンターワンウェイブリーが標準。初期反応と燃費が上がり、一番曲げられる組み合わせ

しかし、RCカーのさらなる楽しみを厳しいレースの中に見出したいなら、こうしたモノを選ぶ目を414で培うのも、必ずユーザーのプラスになるはずだ。



414Xのセンターブリーは15Tのダイレクト型で、ワンウェイとの交換も容易。ワンウェイとの違いはわずかではある



タイヤとインナーは24mm幅の「ミディアムナロー」が、ホイールは、それ用の「ゼロオフセット」が適合する

